

オンライン開催

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

講演 (座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

「がん免疫療法 irAE対策アップデート」

広島大学病院 がん治療センター 准教授 **岡本 渉 先生**

約6年半前に抗PD-1抗体が日本で承認されて以来、本邦におけるがん化学療法の治療体系は大きく変貌した。副作用管理の観点でも、これまでのがん化学療法ではみられることのなかった副作用：免疫関連有害事象(irAE)が知られることとなり、がん免疫療法を行う多くの医療機関や診療科でirAE対策のための取り組みが行われている。

かつては免疫チェックポイント阻害薬が適応となる癌種は限定的で使用する診療科や症例が限られていたが、近年では適応拡大が進み、がん免疫療法を行う診療科や症例が急速に増加し、irAEを発症する患者やirAEに遭遇する医療者の数も増加してきている。さらに、免疫チェックポイント阻害薬と殺細胞性抗がん薬や分子標的薬、標的分子が異なる免疫チェックポイント阻害薬同士の併用療法といった多彩なレジメンが臨床現場に導入されてきており、副作用の鑑別も複雑化している。

irAEを取り巻く状況は、がん免疫療法の導入当初に比べて大きく変化しており、irAE対策にかかわるチーム医療体制の強化など、アップデートの必要性が高まっている。



講師紹介

平成14年 3月 愛媛大学医学部医学科卒業
平成14年 5月 愛媛大学医学部第三内科(消化器内分泌代謝糖尿病内科)
平成15年 6月 社会法人恩賜財団済生会今治病院 内科 医員
平成16年12月 広島市立舟入病院 内科 医員
平成18年 6月 近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門 助教
平成25年 4月 国立がん研究センター東病院(以下を併任・歴任)
ゲノムトランスレーショナルリサーチ分野 医員
消化管内科/先端医療科 医員
臨床研究支援部門 臨床研究支援室 医員
臨床研究支援部門 バイオバンク・トランスレーショナルリサーチ支援室 室長
平成31年4月～ 現職

開催日時 ▶ 2021年2月19日(金)18:30～20:00(予定)

開催方法 ▶ Zoomによるオンライン開催

【申込方法】 以下のいずれかの方法でお申し込みください ※申込締切→2月15日(月)17:00 要申込



①QRコード
申込フォームに入力し
送信してください

②メール
本文に氏名・フリガナ・
所属施設・職名をご記載の上、
下記アドレスに送信してください
byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院(都道府県がん診療連携拠点病院)/中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
広島大学がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン